



竹田えつ子議員

市民と市は情報を共有し 参加と協働のまちづくりを

新ごみ処理施設建設は 候補地ありきの懇話会から、全市民を 対象にした取り組みにすること

新ごみ処理施設建設について地元(郷地・安養寺) 懇話会の会議録を見ると、白紙になった候補地であるにも関わらず、候補地ありきの懇話会であることがよくわかります。いかにごみの発生を抑えながら、21世紀を環境の時代としてどう取り組んでいくかが問われていますが、新ごみ処理施設建設について市民には、問題提起すらされていません。地元懇話会だけでなく全市民を対象とした取り組みにするよう質しました。

市は、ごみ処理施設建設は、建設地及び周辺住民の合意を得ることが最も重要であり、3市での協議が白紙となった今でも、郷地・安養寺を候補地としているとしました。そして北本市と新たな枠組みを目指し勉強会をしていること、枠組みが決定し、事業計画が明確になり次第市民への説明、公表していくと答弁しました。

計画の段階から、市民の声を聞くこと

ごみ処理問題は、市民の協力が一番大事です。計画の段階から市民の声を聞くことを求めて再質問しました。

市は、市民全体の問題であると認識しているが、ごみ処理施設建設は、専門的な知識が必要であり、一から市民と作り上げるのは難しいとしました。

市民全体の問題であると市は答えています。名実ともに、市民とともに作り上げる新ごみ処理施設にするために、これからも声を届けていきます。

鴻巣駅東口に エレベーターの設置を

9月議会で市は、使用契約をしているエルミ鴻巣1号館のエレベーターを利用してほしいと答えました。しかしエルミ鴻巣のエレベーターは、朝6時から23時半までであり、車椅子利用者等の場合、現在の態勢では利用できないため、鴻巣駅東口にエレベーター設置に向けた検討を行うことを求めました。市は、関係者との協議に時間がかかるため、現状では24時間稼働の西口のエレベーターを利用してほしいと答えました。

設置に向けた協議か？

JRなど関係機関との協議に時間がかかると思いますが、具体的に何年と考えているか、協議することは設置に向けた協議と理解してよいか質したところ、市は、具体的には回答できない。JRと協議していくが、設置できるかどうかの協議であるとしていました。

エレベーター設置は多くの市民の強い要望です。これからも粘り強く取り組んでいきます。

他に、子どものいじめ問題、鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業について質問しました。

本当がわかる明日が見える

しんぶん 赤旗



●日刊紙/月3,497円
●日曜版/月930円

新型コロナ、政治、社会保障、経済、…「本当のことが知りたい」その思いにこたえる新聞です。暮らしに役立つ情報も満載です。



すわみつえ議員

市長の土地に建設予定の特養ホーム 「(仮称)第二福富の郷」は当該地で適切か

水害ハザードマップで3~5mの 浸水被害が想定されている

市は、予定地は田で宅地よりも低地のため3~5mの浸水被害が想定されているが、造成後は周辺の宅地と同程度0.5~3mの浸水被害の想定になると考えると答弁しました。

2019年10月の台風19号で浸水し、入所者ら約120人が一時孤立した川越市の特養ホームは、施設復旧の見通しが立たず、移転の方針を決めたそうです。

介護が必要な高齢者が暮らす施設は、災害リスクを極力回避した安心安全な建設地を選定すべきと考えます

市は汚水の処理方法や排水先 については確認できていない

100人の特養入所者と30人定員のデイサービス利用者、働く人々と相当な人数が施設を利用します。

ところが、市は、現時点で事業者より排水計画についての協議がないので、汚水の処理方法や排水先については確認できていないと答弁しました。

当該地は農業集落排水施設を利用する地域です。市と汚水排水にかかわる協議が行われないまま、建設計画を進めるべきではないと考えます。

市長の土地に50年間の 賃貸契約が適切か

市は、所有者が誰か、取得か賃貸借契約かは、事業者と土地所有者との間で決めたことであり、

当事者間で適正・適切な契約が締結されるものと考えているという答弁です。

事業者にとっては、低地での土盛り・下水排水の費用など多額がかかると思われます。

そのうえ50年間も賃借料がかかる当該地を選定した理由が、市民にとっては理解ができないのではないのでしょうか。

市が介護保険事業を運用するには、事業者の状況を把握することは必要だと考えます。

引き続き調査をして取り組んでいきます。

延期されている上尾道路 説明会はいつ行われる？

市は、大宮国道事務所主催で、2020年2月27日から3月8日まで、箕田公民館及び田間宮生涯学習センターで予定されていた説明会がコロナ感染対策で延期になっている。地権者対象の説明会は7月16日から8月5日まで完全予約制で222組の方に行った。2021年1月13日から1月20日まで、説明会が計画されていると答弁しました。

すでに工事が始まっており、周辺は鴻巣西中・田間宮小・箕田小・赤見台中・赤見台第一小があります。環境・通学路問題など、今後は市として市民の声を受け止める組織の検討を求めました。

他に、笠原小学校存続を求める市民の声を生かした教育行政を求めました



「核兵器禁止条約」1月22日発効に

非人道兵器である核兵器を断罪する国際条約が1月22日に発効します。被爆者の命がけの訴えと、平和を願う一人ひとりの市民の勇気ある声と行動が世界を大きく動かした結果です。唯一の戦争被爆国である日本政府がいまだに条約に背を向け続けています。世界の核兵器廃絶の大きな流れからも、被爆者の願いにも逆行する自公政権です。

12月定例会に「唯一の戦争被爆国である日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准をもとめる意見書提出の請願」が新日本婦人の会から出されましたが、残念ながら賛成少数(竹田えつ子・すわみつえ議員他3名)で否決されました。

核兵器禁止条約発効の今年こそ、署名・批准する政権に変えていきましょう!

笠原小学校廃校の条例改定を可決 笠原小学校存続を求める請願を否決

2015年8月に、鴻巣市教育委員会から鴻巣市立小・中学校適正配置等審議会への3点の諮問から始まった学校統廃合の議論は、笠原

小学校をめぐる相反する2つの議案で審議されました。

鴻巣市議会は、市内19校ある小学校の内、笠原小学校を廃校することを賛成17名、反対8名の表決で決めました。

この間、市教委が行った8月のアンケートでも、11月14日の地域説明会でも廃校反対の声が大半でした。また、市民が行った存続を求める署名は、1か月間で4445名も集まりました。笠原地域住民の理解も納得も得られない中で廃校が決定しました。コロナ禍において、子どもたちの不安やストレスにしっかりと向き合う教育環境が求められています。

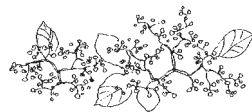
市民の声が生かされる教育行政となるよう引き続き取り組んでいきます。

市営駐車場なくして市民の利便性をもなくす

利用者数の減少・パーキングメーターの更新・民間の駐車場増加などの理由で、1996年から中山道の商店街活性化を図ってきた市営駐車場、パーキング・このすと西口駐車場を廃止することが決まりました。商店街や利用者の方々の驚きの声を届けてきましたが残念ながら廃止となりました。代替制度を求めています。

3月議会日程(予定)

- 2月24日(水) 開会
- 3月2日(火) 代表質問・議案に対する質疑、討論、採決
- 3月3日(水) 議案、請願に対する質疑、委員会付託
- 3月5日(金) 3月8日(月) 文教福祉常任委員会・まちづくり常任委員会
- 3月9日(火) 3月10日(水) 政策総務常任委員会・市民環境常任委員会
- 3月12日(金) 3月15日(月) 3月17日(水) 3月18日(木) 一般質問
- 3月22日(月) 委員長報告 質疑、討論、採決 閉会



「新型コロナウイルス感染症に関する緊急県民アンケート」にご協力を

日本共産党県委員会は、新型コロナウイルスの拡大による県民生活への影響について実態を把握するとともに、県民の要望や意見を今後の国、自治体の諸施策に反映させるため、緊急県民アンケートを実施しています。

【実施概要】●調査対象 県内に在住する満15歳以上の方

●調査期間 2020年12月18日~21年1月31日 アドレス <https://t.co/Z2g0gRBn0a?amp=1>



このす民報

議会報告版

2021年1・2月号 第416号

日本共産党鴻巣市委員会の見解を紹介いたします。

日本共産党鴻巣市議団

竹田えつ子 すわみつえ

☎542-7072 ☎507-4151

FAX542-7101 FAX596-9440

★政務活動費で議会報告を作成しています。

2021年 希望かなう新しい政治に

新型コロナ感染拡大の中で新しい年を迎えました。菅政権による人災ともいえるコロナ対策、日本学術会議の任命拒否問題、自己責任の押し付け、後期高齢者医療の2割負担など、発足後4カ月が経過し、安倍前政権を上回る危険で有害な政権であることがはっきりしてきました。

市民と野党の共闘の力で、来るべき総選挙で菅自公政権を倒し政権交代を実現し、希望かなう新しい政治をつくりましょう!

今年も、皆様の大きなご支援よろしくお願ひ致します。

新型コロナから命と暮らしを守りぬく 日本共産党の緊急要請

無為無策の菅自公政権では コロナの収束の目途さえ立ちません。

日本共産党は、昨年12月11日「新型コロナ『第3波』から医療・暮らし・事業を守る緊急要請」を政府に対して行いました。

- (1) 医療機関への減収補填など直接支援を直ちに
- 行う (2) 大規模なPCR検査のため地方負担分を直ちに国庫から交付する (3) 年末に事業をつぶさないために、資金繰り、雇用維持、事業継続への支援に全力をつくす (4) 年末年始の生活困窮への相談・対応体制をつくる (5) 観光・飲食業等への直接支援策に転換するの、5点を求めています。この実現のために全力を尽くしています。

ご一緒に政権を変えましょう



衆議院議員

塩川てつや

今年は丑年、私は年男。一步一步着実に、頑張りぬく一年にしたい。コロナ禍の国民の暮らしと営業を守るために全力投球します。わが党に信頼と期待が寄せられている桜を見る会や学術会議問題など徹底追及します。核兵器禁止条約の批准、日米地位協定の抜本改定、憲法9条を守り生かす政治を前進させたい。

そして必ず行われる総選挙。市民と野党の共闘の前進、日本共産党の躍進で、野党連合政権を実現する年にしましょう。



前衆議院議員

梅村さえこ

総選挙の年。必ず国会へ戻る決意です。政権交代、野党連合政権を実現し、消費税5%減税、ジェンダー平等、子どもの権利が輝く社会をつくる決意です。今年は党創立99年です。昨年末、長野県別所の山本宣治の碑を訪ねました。戦前、命をかけてたたかわれた志を思う時、党史上初の野党連合政権めざすたたかひに今、参加することに、感謝と新たな決意を胸にしました。頑張ります。